

1. 権現山

山頂には昔から「権現さん」と呼ばれてきた五郷社が鎮座し、南吉が子供の頃、この辺りにキツネが住んでおり、「ごんぎつね」の由来となったとも言われる山。岩滑地区の様々な場所から望むことができ、童話の舞台に思いを馳せることができます。



ゆかりの南吉作品
「ごんぎつね」

2. ごんの飛び石

水辺を楽しみながら、散歩することができます。飛び石の整備によって、岩滑地区と阿久比町植大地区がつながりました。



3. 300万本の彼岸花

童話「ごんぎつね」の世界を矢勝川堤に再現したいとの思いで、地域の方々が彼岸花を長年植え続けました。今では9月下旬ごろになると300万本の美しい彼岸花が堤を真っ赤に染めます。



4. 岩滑西橋

徳川家康が通ったとされる岩滑西橋。通称「殿橋」。岩滑地区の景観の向上を目指して、2015年に高欄を高質化しました。



岩滑地区 景観資源マップ



5. ごんごろ緑地

岩滑地区で桜を楽しめるスポット。川の水面のすぐ近くまで下りることができ、水辺に親しむことができます。



6. 矢勝川

童話「ごんぎつね」では、主人公である兵十がウナギを獲っていた川として描かれている矢勝川。堤防沿いにある散策路は、地域の方に親しまれています。



ゆかりの南吉作品
「ごんぎつね」「川」

7. 田園風景

矢勝川沿いでは、水田が営まれ、田園風景を見ることができます。毎年、地域の活動団体が、南吉にまつわる絵を田んぼアートとして制作しています。



8. ででむし広場

大きなでんでんむしの像や、きつねの滑り台がある。通称「あん川」が矢勝川に合流する所に作られた小広場。



9. 常福院

1500年代中頃、岩滑城主の中山勝時が建立した寺院。境内の大ソテツは創建時に植えられたと伝えられるもので、景観重要樹木及び、市指定天然記念物となっています。



ゆかりの南吉作品
「ひよりげた」「久助君の話」など

10. 赤い井戸

常滑焼の土管を使用した井戸。赤っぽい色をしていて、江戸時代から作られていました。「ごんぎつね」に登場します。



ゆかりの南吉作品
「ごんぎつね」

15. 常夜燈

1808年、岩滑の秋葉講により建立された常夜燈。南吉の生家の前にあり、幼い頃の南吉の遊び場のひとつでした。石段には、子どもたちが「草つき」をして遊んだくぼみが残っています。



ゆかりの南吉作品
「花を埋める」「音ちゃんは豆を煮ていた」

16. 南吉の生家・渡辺家(景観重要建造物)

世に多くの童話を送り出した新美南吉の生まれた家。大野街道沿いに建ち、道からは一階建てに見えるが、裏にまわると二階建てになっています。



ゆかりの南吉作品
「狐」「雀」

17. 新美南吉記念館

新美南吉を顕彰する施設。周囲の地形と連続する半地下のこの建物は、南吉が描いた半田の自然・風景と調和することを目指しています。隣接する童話の森は童話「ごんぎつね」に登場する中山さまの城跡と言われています。



18. 岩滑小学校

南吉の母校で、1931年には南吉が代用教員として教鞭をとった学校でもあります。北側の擁壁には南吉作品にまつわる絵画が飾られています。



地域の皆さんによる景観形成の取組

当地区では、良好な景観形成のために、地域の皆さんによる以下のようなまちづくり活動が行われています。



来訪者への南吉童話ゆかりの場所の案内



住民等による矢勝川沿いの草刈や彼岸花の植栽・管理



田んぼを活用した田園風景の保全活動

届出対象行為について

- ※景観形成重点地区内において、建物等の建築、修繕等を行う際には、景観法及び半田市ふるさと景観条例に基づき、本市に届出を行うことが必要となります。
- ※景観形成重点地区内において、優れた景観を保全するための建築行為（建築、修繕等）については、半田市ふるさと景観づくり事業補助金を受けられる可能性があります。詳細は下記連絡先までお問い合わせください。

連絡先
建設部都市計画課 都市計画担当
電話番号：0569-84-0628
ファックス番号：0569-23-6061

岩滑地区 景観資源マップ

- 景観資源マップは、地域の人々が大切にしている建物や風景といった景観資源を掲載しています。
- 住宅等の建て替えやリフォームを行う際には、当地区の景観資源を意識し、景観への配慮に努めましょう。

岩滑地区の景観形成方針

- 住民の暮らしを大切にするとともに、新美南吉ゆかりの場所を散策する人に親しまれる景観形成
- 新美南吉の生家、社寺など南吉童話の舞台を継承する景観形成
- 矢勝川や里山、農地などの風景を保全し、自然と調和した景観形成
- 地域の祭りや伝統行事に配慮した景観形成



<岩滑地区における景観形成のイメージ>

11. 岩滑八幡社

岩滑の氏神。南吉は毎日この境内を通って離れの家と店（生家）を往復していました。秋に実施される「ごんの秋まつり」では、「彼岸花の結婚式と花嫁行列」が行われます。



ゆかりの南吉作品
「狐」「久助君の話」「疣」「ごんぎつね」

12. 大野街道

岩滑を通り、大野（常滑市）に至る大野街道。かつては黒鋏街道とも呼ばれ、近世から明治時代にかけて活躍した各種の土木工事に従事する出稼ぎ人夫（黒鋏）が往来していました。



13. 光蓮寺

南吉が子どもの頃にお経を習い、「ごんごろ鐘」「百姓の足、坊さんの足」に登場する寺のモデルともなった寺院。



ゆかりの南吉作品
「ごんごろ鐘」「百姓の足、坊さんの足」

14. 生垣のある風景

南吉童話まちなみ地区には、童話「狐」などで描写されている榎の木の生垣が残っています。



ゆかりの南吉作品
「狐」「貧乏な少年の話」